

令和元年度
夏期研究協議会
教務運営研究会
実 施 案 内

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会
会 長 近 藤 彰 郎
東京私学教育研究所所長 須 藤 勉
教務運営研究会委員長 守 隨 憲 道

所在地 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館4階
電 話 03(3263)0544 F A X 03(3263)0560
(共 催 : 公益財団法人 東京都私学財団)

教務運営研究会

高等学校学習指導要領改訂に伴い、各校では教育課程表の「総合的な学習の時間」を「総合的な探究の時間」に書き換え、様々な取り組みを開始していることと思います。

そこで今年度は、探究学習に関わる理論と実践に触れるための講演と実践報告を企画しました。講演は京都大学大学院の西岡加名恵教授にお願いしました。「逆向き設計」論によるカリキュラム開発やパフォーマンス評価などの研究で著名で、アクションリサーチも手掛ける西岡先生のお話からは、探究的な学びを推進するカリキュラム構築のための知見が広げられることと思います。

実践報告では三つの学校の先生方にご登壇いただき、現場での探究学習推進についてお話しいただきます。授業担当者として、学年として、あるいは学校全体として取り組んだ経験に基づく発表からは、各校の探究学習を発展させるのに有用な示唆が得られることでしょう。

また、分科会では、様々な学校間の情報交換によって、各校が抱えている教務全般についての問題や悩みごとの解決策を見出す機会としていただくことができます。

先生方ご自身にとりましても、先生方の学校にとりましても有意義な研修になることと存じます。ふるってご参加いただきますようご案内申し上げます。

1. 研究目標 **新学習指導要領における新しい学び**
 - ・教育改革が及ぼす影響
 - ・教務運営上の諸問題
2. 会 期 **8月1日(木)・2日(金)・3日(土)の2泊3日(現地集合・現地解散)**
3. 会 場 **かずさアカデミアホール・オークラアカデミアパークホテル**
〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足2-3-9
TEL: 0438-52-0111(フリーダイヤル 0120-37-7070) FAX: 0438-20-5210
<http://www.kap.co.jp/>
4. 参加対象 **教務関係教職員等**
5. 募集定員 **100名**(定員になり次第締切ります)
参加は1校3名までとします。
6. 参加費 **1名につき44,000円**
(2名1室利用。宿泊費〈2泊5食〉、資料印刷費)
7. 日 程 **8月1日(木) 13:00受付開始 13:30開会式 [201会議室]**
8月3日(土) 11:30解散予定

時間 月 日	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
8月1日(木)					受 付	開 会 式	資 料 説 明	講 演	休 憩	分 科 会	チ ェ ッ ク イ ン	夕 食	情 報 交 換 会
8月2日(金)	朝 食	分科会		昼 食	実践報告		休 憩	分科会		休 憩	夕 食	情 報 交 換 会	
8月3日(土)	朝 食	分科会		閉 会 式									

8. 研修内容

① 講演

演 題 「資質・能力」を育成するパフォーマンス評価
講 師 西岡 加名恵 京都大学大学院教育学研究科教授

《プロフィール》

バーミンガム大学大学院 Ph.D (Ed.) 取得

鳴門教育大学講師、京都大学大学院教育学研究科准教授等を経て現職。

専門は教育方法学（カリキュラム論、教育評価論）。

各地の学校や教育委員会と連携してパフォーマンス評価に関する共同研究開発を行うなど、カリキュラムと教育評価の改善に携わる。

文部科学省「育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・内容と評価の在り方に関する検討会」委員（2012年12月～2014年3月）、高等学校における「多様な学習成果の評価手法に関する調査研究」評価・推進委員会委員（2013年6月～2016年3月）など。

著書『教科と総合学習のカリキュラム設計』（単著、図書文化）

『「資質・能力」を育てるパフォーマンス評価』（編著、明治図書）など。

② 実践報告

演 題 草の根から広げる探究活動の実践報告
～コミュニケーションを通じて主体的な学びの場を作る～

講 師 上野 裕之 教諭（佼成学園中学校高等学校）

本校では昨年度の中学1年生から総合学習の時間において、行事や授業との連携を図るカリキュラムマネジメントの視点を取り入れながら探究活動をおこなっています。まだ駆け出しの段階ですが、探究活動に対するマインドやノウハウを、どのようにして生徒そして教員仲間に取り込み、活動を進めてきたかの実践事例などをご紹介しますと思います。

演 題 本校における教科『プロジェクト』の学びについて

講 師 佐野 和之 副教頭（かえつ有明中学校高等学校）

プロジェクト科での体験を生徒がどのように自分のものとして、自身のプロジェクト活動につなげているのか、また、授業を担当する教師はどのようなことを大切にして活動のサポートをしているのかをご紹介します。

プロジェクトを通じて生徒がどのように変容したのか、そのために向き合う教師のあり方がどのようなものだったか、などをお話しし、少しワークも入れたいと思っています。

演 題 「探究を探究する」～立命館宇治高校・文科省指定の取り組み～

講 師 酒井 淳平 教諭（立命館宇治中学校高等学校）

「探究」について、具体的には文科省の指定を受けながら実践している「総合的な探究の時間」のカリキュラム開発や実際の実践、教員のチーム作りなどについてお話しさせていただきますと思います。

③ 資料説明

令和元年度「教務運営に関するアンケート」結果報告

教務運営研究会委員 尾崎 威史（朋優学院高等学校）

④ 分科会

- ・今年度は、「高校単独校」「中高併設校（高校募集あり）」「中高併設校（高校募集なし）」の学校種別分科会となります。自校の学校種別に関わらずご希望の分科会をお選びください。
- ・各分科会は1グループ20名程度です。

9. その他

- ・ 宿泊の部屋は**禁煙の2名1室利用**になります。参加者同士の交流の為、部屋割りは、同じ学校の方同士が重ならないようにさせていただきます。喫煙する場合は喫煙コーナーをご利用ください。
- ・ 会場は冷房が強い場合がありますので、上着等で調整してください。

10. 委員 (順不同)

委員長	守 隨 憲 道 (豊 南)		
副委員長	網 干 守 (成 城 学 園)	築 瀬 誠 (佼 成 学 園)	
	戸 谷 述 夫 (共 立 女 子)	伊 東 利 博 (跡 見 学 園)	
	前 嶋 正 秀 (か え つ 有 明)	尾 崎 威 史 (朋 優 学 院)	
	青 柳 圭 子 (成 城 学 園)	太 齋 潔 (専 修 大 学 附 属)	

11. 記 録 者 (順不同)

鈴 野 一 高 (共 立 女 子)	高 梨 裕 樹 (共 立 女 子)
清 水 美 雪 (跡 見 学 園)	立 川 秀 規 (か え つ 有 明)
秋 葉 崇 (朋 優 学 院)	山 崎 智 裕 (朋 優 学 院)
佐々木 直 也 (成 城 学 園)	長 谷 川 剛 (佼 成 学 園)